

令和6年度 第1回大野市男女共同参画推進委員会

日時：令和6年9月10日（火）午後7時から午後8時40分

場所：市役所 大会議室

<出席者> 大野市男女共同参画推進委員 9名（欠席者2名）

総務課（課長、参事、課長補佐、課員） 4名

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議題

（1）大野市男女共同参画プラン進捗状況（令和5年度実績）の概要について

・資料1から5で説明

※議事要旨は別紙のとおり

（2）令和6年度大野市男女共同参画推進事業の計画について

・資料6で説明

4 その他

・意見について、改めて書面にて意見聴取をする。

・意見を基に第2回の開催をしたい。

5 閉会あいさつ

・この話を周りの人に話すだけでも違う。ひとつの意識改革として、話をしていたければ。

【意見等要旨】

議題（１）大野市男女共同参画プラン進捗状況（令和５年度実績）概要

○講演会など年に１回の開催だが、回数を増やすとよいのではないか。

→大きい講演会となると参加者を集めることに苦慮している。小さい講演会を数回するなどの工夫をする必要がある。

○審議会等女性登用について、一般公募に「女性枠」を創設するなど取り組んでいるが、県内他自治体も同様の課題があると思うため、取組事例を聞くとよいのではないか。県内他自治体とのつながりも作るとよい。

→現在そのようなつながりが無い。検討したい。

○資料１－２ 審議会等女性登用目標値、実績値共に国の目標値、実績値とずれがある。ずれがあることが課題なのか。市は市の目標で取り組めばよいのではないか。

→国は国の目標であり、課題ではない。参考として記載した。

○資料１－１ 既に令和１２年度の目標値を超えている項目があるが、目標値は変更しないのか。

→令和７年度で計画の中間となるため、見直しを考えている。目標値を分析し、そのままを維持するのか、目標値を上げるのかなど検討したい。

○女性委員推薦の依頼をしているが、女性の役職者は少ないため重宝される。あらゆる会で女性委員となり取り合いになる。また、今はまだ女性の区長は難しいと考える。若者や地域おこし協力隊などに協力してもらい、若者を活かしていくことが必要。高齢者に話をしてもなかなか進まない。

→団体自体に女性がいないとそのようになってしまう。若者を多く引き込めれば女性の委員なども増えるかもしれない。

○委員を広く募集することも必要。いろいろな審議会等では、関係ある地区の区長が委員となったりするが、関係ない地区から委員を選出するようにしてはどうか。

○数字を求めると難しいと思うが、この会議の委員となり参加したことで知り得たこと

が多くある。一般の方が会議に参加し、知ることが大事だと思う。一般公募枠を増やすことに賛成する。区長が男性なのは、家長が男性であることから仕方ないかと思うが、これも変わってきていると感じている。目標を達成するには長い目で見ないといけない。

○「男女共同参画」の言葉が固い。自分には荷が重いと感じてしまう。もっとやわらかい言葉の会議名称にできないか。

○モニタリング指標では、「家庭における「炊事、洗濯、掃除」の男女が同じ程度実施する比率」があるが、男性が9.2%となっている。10人に1人は実施していることになるが、実際はもっと低い感じがする。極論、男女が同じ割合で家事をすれば、女性の会議参加は増えると思う。女性でも未だ家事は女性との考え方がしみついている。それが当たり前じゃないことを意識することが必要ではないか。

→今年度女性リーダー育成セミナーのテーマとなっているが、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」が、課題となっている。

→福井県は共働き率が全国トップではあるが、男性の家庭でも育児にかかわる時間は全国では下の方という統計がある。男女共同参画プランを策定した際のアンケートでも男性の家事・育児の意識には差がある。大野市でも、総務課だけでなく、子ども支援課や生涯学習・文化財保護課も一緒に「共家事」の取組みを進めていく。男女共同参画ネットワークには、「共家事」をテーマとした取組みを依頼している。また、市の職員でも若い職員の意識は変わってきている。この近い期間ではあるが、男性の育児休業取得率が100%となっている。考え方も変わってきているかと思う。

○男性は家事を「手伝う」という意識がある。手伝うのではなく、分担することが必要である。

○学校でも意識が変わってきていると感じる。父親の参加や子どもの看護を父親がしているなどよく聞く。男女の格差がなくなってきていると感じている。

○一般公募枠を増やせないかなと思う。講演会の手法として、「人を集める」から「人の集まる場所に出かける」に変わってきている。そのような方法も考えてはどうか。いろんな意見が出たが、やはり次の世代の人材を広げることが必要だと思う。数字に表れるのは難しいと思うが、変わってきていると思うので、もうちょっと時間をかけて諦めずに取組んでいくことが大事だと思う。